

Check!
入学
までに

就学に向けて大切にしたい 4つのポイント



- 1 | 全ての土台となる「基本的な生活習慣」を整えましょう
- 2 | たくさんほめて、お子さんの「やる気」や「自信」を引き出しましょう
- 3 | 学校は楽しいところだという「期待感」を大切にしたい関わりをしましょう
- 4 | 一緒に通学路を確認し、「安全」に通学できるようにしましょう



4月から小学生になるお子さんをもつ保護者の皆様へ

01

流山市
幼児教育
支援センター

1ST GRADE
ELEMENTARY SCHOOL
IN NAGAREYAMA

のびのび
わくわく
じんじん

もうすぐいちねんせい

安心して入学を迎える
ために・・・

幼児期から小学校1年生までの遊びと学び
そのつながりについてご紹介します



いよいよ小学校へ入学。期待とともに、ちょっぴり不安を感じているお子さんや保護者の方もいらっしゃるかもしれません。このリーフレットは、お子さんがこれまで「遊び」を通して身に付けた力を信じ、期待をもって小学校へ入学していただきたい！という願いを込めて、作成しました。子どもたちが『のびのび』と幼児期の経験や持っている力を発揮し、『わくわく』と胸を躍らせながら、『ぐんぐん』育っていくことができるよう、幼児教育支援センターは園や学校、地域や保護者の皆様とともに手を携えていきたいと思っております。

聞いて安心♡ ご質問にお答えします！ Q&A



Q 心配なことがあるときは、どうしたらよい？

A 就学に関して心配なことがありましたら、幼児教育支援センターにご相談ください。保護者の方と共に考え、小学校へつながるようにお手伝いをします。



Q 小学校での学びは、どのように進んでいくのですか？

A 入学当初は、幼児期の遊び・生活に近い活動や人と関わる楽しい活動を行い、子どもたちが安心して学べるように各学校が学習環境等を工夫して、学びに繋げていきます。



Q 食物アレルギー、好き嫌い、食べるのが遅い等、給食のことについて相談できる？

A 食物アレルギー対応等、相談したいことがありましたら、小学校へご相談ください。1年生の始めは、食べる量や時間に個人差が見られますが、一人ひとりが食べることができる量を考慮し、配膳・食事・後片付け等について、配慮をしています。



発行

幼児教育支援センター
令和8年2月発行

流山市江戸川台東3丁目2番地
TEL : 04-7154-8781

流山市幼児教育支援センター

幼児期

“遊び”は“学び”の土台

こどもの生活の中心は「遊び」です。この「遊び」を通して、こどもは様々なことに興味を持ち、心と体を動かして夢中になって遊ぶことで、学びながらすくすくと成長していきます。幼児期において「遊び」を通して育まれてきた力が、小学校以降の学びの土台となります。

『遊び』を通して…

学びに向かう力・人間性等

心情・意欲・態度が育つ
↓
よりよい生活を営む

知識・技能の基礎

感じる
気付く
分かる
やってみる

思考力・判断力・表現力等の基礎

考える
試す
工夫する
表現する



キラキラして川みたい。お魚をおよがせよう！
豊かな感性と表現

あんまりふかくほると、小さい子があちやうよ。
健康な心と体



ゆふれやさいから、きをつけよう。
自立心

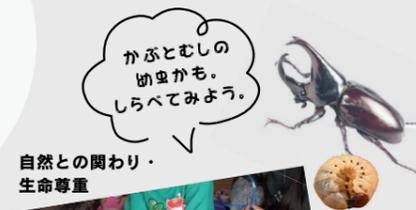
みてみて、2ひきもとれたよ。
数量・図形・文字等への関心・感覚



つぎはわたしのじゅんばんね。
道徳性・規範意識の芽生え

涙すよ。みててね！
協同性

あれ？でてこない。なんでだろ。
思考力の芽生え



かぶとむしのめいも。しらべてみよう。
自然との関わり・生命尊重



カブトムシのしいく
言葉による伝え合い
社会生活のとの関わり

幼児教育の大切な学びが分かる動画シリーズ

幼児教育は何のため？
「遊びは学び」ってどういうこと？

【参考】

幼稚園教育要領
保育所保育指針
幼保連携型認定こども園教育・保育要領

小学校

入学当初の1日を見てみよう

こどもたちみんなが安心して自己発揮できるように…

小学校では、入学したこどもたちが安心して学校生活を送るとともに、自信をもって成長していけるよう、支援しています。お子さんと一緒に、入学後の学校生活の様子をイメージしてみてください。

01

いってきます
通学路を通り、自分で学校へ行きます。地域の方が安全に登校できるよう見守ってくれている場所もあります。元気なあいさつが響きます。



02

おはようございます
荷物を出して、身支度を整えます。8時ごろ、みんなが集まったら、活動がはじまります。



03

かくしゅう
入学当初は、お子さんの様子に合わせて活動時間を設定します。活動や体験の中で感じたことをもとにして各教科の学びへとつなげていきます。



04

きゅうしょく
12時ごろ、給食を食べます。給食当番がご飯やおかずをお皿に入れて、配膳します。みんなでそろって「いただきます！」。

【ある日の給食】
和風ハンバーグ、ひじきと大豆の炒め煮、ずまし汁



05

やすみじかん
授業の間に休み時間があります。遊具遊び、鬼ごっこ、図書室で読書など、自由に遊びます。

06

そうじ
こどもたちで教室や廊下をきれいにします。そうきんやほうき、ちりとりを使います。



入学当初は、環境の変化から、疲れて帰宅するお子さんもいます。様子を見ながら話しかけてください。お子さんのちょっとしたつぶやきや表情を受け止めていただきながら、頑張ったことや楽しかったことなど、いろいろな話を聞いてください。



幼保小が連携して、お子さんの成長を支えていきます

文部科学省は、架け橋期（義務教育開始前後の5歳児から小学校1年生の2年間）にふさわしい学びの実現を図るために、こどもに関わる大人が立場を超えて連携する「架け橋期プログラム」を推進しています。

本市においては、今後、幼保小連携のしくみづくりを行っていく上で職員同士のつながりの構築ができるよう、令和7年度より市内全小学校で「幼保小連携の日」を実施しました。また、相互参観や合同研修等も実施しています。今後も、地域のこどもたちをともに育てるために、施設類型をこえて連携しています。



こどもの“挑戦”を見守る ～「安心」と「挑戦」の循環～

こどもが何かに「挑戦」するとき、おとなとしてはつい心配して助けたり、代わりにやってあげたりしたくなることもあります。ですが、こどもが自分から「挑戦」しようとしている時は、そばで見守り、応援することも大切です。おとなみんなでこどもの心に「安心」の土台を築き、こどもの「挑戦」を支えていきましょう。

本市の学校教育においても「学びに向かう力と自立するこどもを育てる」ことを目標としており、児童生徒一人一人が主体的に学び、経験や体験を通して自ら問題を解決できる力を育むことができるよう教育活動を実践していきます。

